

鹿児島県 公立高校の入試制度

【2026年度版】

選抜概要

●鹿児島県の公立高校入試は、推薦選抜・一般選抜があります。

推薦選抜は学校推薦方式、自己推薦方式の2方式から1つまたは2つを実施します。ただし、学校推薦方式と自己推薦方式の両方出願はできません。

	推薦選抜	一般選抜
出願期間	1/20(火)～26(月)	2/5(木)～12(木)
出願変更期間	—	2/16(月)～20(金)
入試日	2/3(火)	3/4(火)・5(水)
合格発表日	2/9(月)	3/12(木)

●出願は、原則1校1学科（コース）に限ります。

ただし、学科併願による募集を行う学校においては、複数の学科に出願することが出来ます。

●普通科の通学区域は、原則として鹿児島、南薩、北薩、始良・伊佐、大隅、熊毛、大島の7つに分かれています。ただし、募集定員が120人以下の学校、熊毛学区・大島学区については所属学区に関係なく出願が可能です。

また、学校によっては学区外からの一定枠も設けられており、各学校の定めた枠内での学区外募集があります。

推薦選抜

●推薦選抜の出願資格は以下の通りです。

[学校推薦方式]

- ① 当該学科・コース等を志望し、動機や理由が適切であり、入学する意思が確実であると認められる者
- ② 当該学科・コース等に対し適性及び興味・関心を有する者
- ③ 当該学科・コース等の教育を受けるにふさわしい学業成績である者
- ④ 生徒会活動、スポーツ活動、文化活動、奉仕活動等の中のいずれかにおいて優れた資質や実績を有する、又は特定の教科において優れた能力を有する者

[自己推薦方式]

各高校が示す育成したい生徒像・求める生徒像を理解し、当該学科・コース等で学ぶ意欲を持つ者。上記①～④に加え、各高校が定める出願資格の要件を満たす者

●募集人員は、原則として以下の範囲で各学校により決定されます。

・専門学科・総合学科…募集定員の30%以内、普通学科…募集定員の10%以内

●選抜資料

・面接（プレゼンテーション等）等、調査書、推薦書（学校推薦方式）、志望理由書（自己推薦方式）等の記録。また、作文や小論文、適性検査、実技等、各高校が示す育成したい生徒像、求める生徒像に沿った選抜を実施する。

一般選抜

●選抜資料

- ・学力検査…国語・数学・理科・社会・英語（各50分・各90点）
※各学校や学科の特性に考慮して傾斜配点を行うことがある。
傾斜配点を行うのは2教科以内とし、各教科配点の2倍までとする。
- ・学校採択の検査…面接
- ・調査書…学習の記録（3学年の評定）
 - ・学力検査を行う5科を各10点満点に換算
 - ・学力検査を行わない必修4科を100点満点に換算

＝計 450点満点
- ・総合所見及び指導上参考となる諸事項

●上記の資料ほか、自己申告書（提出があった場合）、各学校が実施するものなどを用いて、総合的に判定して選抜を行います。

特記事項

●第二次選抜について

一般選抜（第一次選抜）の合格者が募集定員に満たない学科において実施されます。ただし、開陽高校においては第二次選抜は実施しません。

実施校及び募集枠は、一般選抜の合格発表日（3/12）に公表されます。

なお、一般選抜を受検し合格しなかった者等の出願資格があり、私立高校に合格し入学手続きをした者は出願出来ません。

●単位制高校・併設型中高一貫校について

一部の単位制高校・併設型中高一貫校等は、出願や募集内容について、他の学校と異なる場合があります。主な相違は以下の通りです。

・全県募集

開陽高校（単位制）

選抜は年4回実施するものとし、1・2回の試験日程や内容は、前述の推薦選抜・一般選抜に準ずる。推薦選抜は学校推薦と自己推薦で募集する。3回は転入・編入選抜(3月)、4回は後期選抜(9月)

・全国募集

楠隼高校（併設型中高一貫・高校は男子のみ募集）

試験日程や内容は、前述の選抜方法と異なります。

出願期間：1/9～16、入試日：2/3、発表日：2/6

選抜内容：調査書等提出された資料、面接

学力検査（国語・数学・英語）

学力検査は各30分・各60点満点。